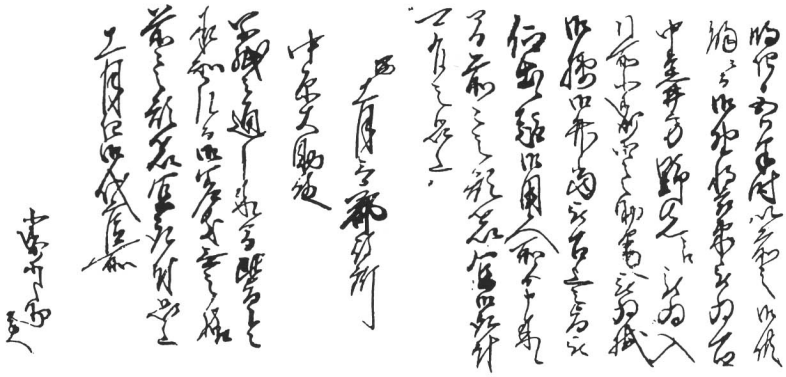
五　藩主の鷹狩り

藩主の鷹狩りが特に多かったのは、会津藩四代松平正容より八代容敬の時代で、概ね一六〇〇年後半から一八〇〇年代までの間、藩主の鷹狩りが中荒井村や金谷村などを中心に、中荒井組や橋爪組の各地で行われた。次の文書は、中荒井村での鷹狩りのため、藩主の休憩所を指示する文書である。



明四日五つ半時以前の御供
觸れにて御野装束召させられ
中荒井方野先え入られた
同所小森愛之助宅へ掛けさせられ
御腰御弁当召し上げられる旨仰せ
出され候趣御用人所より申し来たり候
間前々の形を以って宜しく御取計らい
これあるべく候　以上

酉
十一月三日　郡役所

中原大助殿

別紙の通り申し来たり候間此の旨
承知せしめすべて御差し支えこれ無きよう
前々の形を以って宜しく取り計らい候以上
十一月四日御代官所

小森愛之助
方へ